



住み慣れた地域で
安心して暮らしていくように

認知症 コラム

【第6弾】
認知症サポーターについて

こんにちは、認知症地域支援推進員です。「認知症コラム」をご覧いただきありがとうございます。今月号では、「認知症サポーター」について紹介します。

特別な「何か」をする 人ではありません

「認知症サポーター」（以下、「サポーター」）とは、特別な資格を持つ人のことではなく、認知症サポーター養成講座（以下、「養成講座」）を受講し、認知症に関する知識や接し方などを学んだ住民一人ひとりを指します。現在、全国で1600万人以上のサポーターが誕生しています。

例えば、買い物の場面でゆっくり対応することや、偏見や誤解を広めないことなど、日常のちょっととした行動もサポーターの大切な役割です。「自分のため、または身近な誰かのために知つておきたい」と思う方なら、どなたでも対象となります。

認知症の 方からの声



「認知症とともに生きる希望宣言（※1）」の中に、「自分の思いや希望を伝えながら、味方になってくれる人たちを、身近なまちで見つけ一緒に歩んでいきます」とあります。その一步として、耳を傾け一緒に考えられる認知症サポーターの存在が大きな支えにつながります。

（※1）一般社団法人日本認知症本人ワーキンググループが、2018年11月に発信

養成講座の受講で あなたもサポーターに

与謝野町では、町内の小・中学校に講師役の認知症キャラバン・メイト（※2）を派遣し、啓発活動に力を入れています。また、地区の団体や一般住民の集まり、企業などから「認知症に



認知症サポーターキャラバン・メイトのマスコットキャラクター「ロバ隊長」

（※2）キャラバン・メイトは「認知症サポーター養成講座」を企画・開催し、講師を務めます。講師開催をきっかけに、住民から相談を受けた関係機関との連携を図ったりすることを通じ地域のリーダー役となる役割が期待されます。キャラバン・メイトになるには、自治体または企業・職域団体が実施するキャラバン・メイト養成研修を受講する必要があります。

ついて学びたい」といった声があれば、講師を派遣して養成講座を開催しています。受講を希望される場合は、地域包括支援センターまでご相談ください。養成講座を受講すると、サポーターの証である「オレンジリング」が授与されます。私たち一人ひとりの理解と行動は、認知症に限らず、誰もが暮らしやすい社会を支える力になります。ぜひ、あなたもサポーターになつてみませんか。